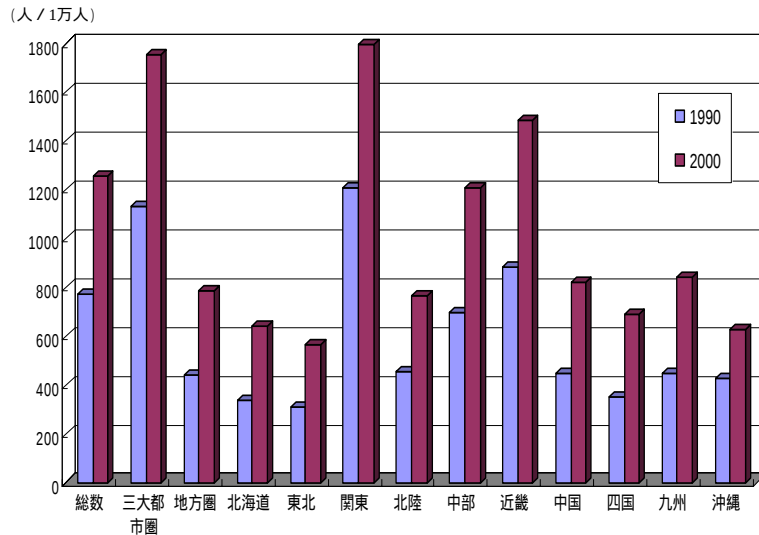


指標：人口当たり出国日本人数

2000年までの10年間をみると、各地域において人口当たり出国者数が増大している。大都市圏での出国率等が地方圏よりも高い傾向にあるが、地方圏での出国率等も顕著に増大しており、地方圏も含め、各地域で諸活動のグローバル化の進行を示すものと考えられる。

地域ブロック別人口1万人当たり出国日本人数



出国総人数：966万人(1990年)→1636万人(2000年)

出国率(人/1万人)

	1990年	2000年	伸び率
三大都市圏	1129	1754	1.55
地方圏	439	787	1.79

(注) モニタリング項目：国際交流の動向における、地域区分は

北海道：北海道

東北：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

関東：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

北陸：新潟県、富山県、石川県、福井県

中部：山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

近畿：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

中国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県

四国：徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県

沖縄：沖縄県

とする。

(出典) 法務省出入国管理統計より国土交通省国土計画局作成